



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 29 (平成29年10月16日発行)

佐高 インスパイア ファイル

第72回国民体育大会 えひめ国体山岳競技会

もろい がくと
茂呂居岳人君(2年4組)

祝 リード:少年男子優勝 ボルダリング:同準優勝



少年男子リード競技の表彰式



校長先生への大会報告



↑リード競技



↑ボルダリング競技
(登っているのが茂呂居君)

2017年10月1日から愛媛県西条市の西条西部体育館ほかで山岳競技が行われ、同日、**少年男子リード競技**決勝で、本校生の茂呂居岳人君と榎崎明智（第一学院高宇都宮校3年）君とのペアが見事、優勝を飾りました。また、大会第3日（10月3日）、**少年男子ボルダリング競技**決勝が行われ、茂呂居君たちのペアが、準優勝となりました。2種目で優勝、準優勝という**快挙**を成し遂げました。おめでとうございます。10月4日夕方、栃木県に帰ってきた茂呂居君は、校長先生に**大会報告**を行いました。栃木県知事からの**祝電**も届いていました。

- リード：高さ12m以上の人工壁をどれだけ高く登れたかを競います。
- ボルダリング：高さ5mの人工壁を完登した回数とボーナスポイントを競います。

茂呂居君へのQ&A

- Q1 壮行会で優勝を宣言していましたが、勝算はあったのですか？
→ありました。何回かパートナーと一緒に試合をし、これはいけると確信しました。関東はレベルが高いので、関東で1位になれば全国でも1位になれると思っていました。これまで、宿敵の埼玉に勝つための練習を積んできたので、パートナーと自信をもって試合に臨むことができました。
- Q2 今回の大会で一番印象に残ったことは？
→自分の弱さを思い知らされたことです。ボルダリングでは予選で1位だったため、甘えがでてしまい、決勝で逆転されてしまいました。結果が全てという言葉が印象に残っています。
- Q3 次の目標は何ですか？
→2月に行われる「ボルダリングジャパンカップ」です。この大会で上位に入賞し、来年の「ワールドカップ」に出場するのが目標です。